

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	環境局環境未来都市推進部環境産業推進課
評価対象期間	平成27年4月1日～28年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市エコタウンセンター	施設類型	目的・機能
			I	— ⑤
	所 在 地	若松区向洋町10番地20		
	設置目的	北九州エコタウン事業の紹介や展示、市内環境関連産業の紹介等を行うほか、環境に関する学習及び交流の場を提供するなど、北九州エコタウン事業を総合的に支援するための中核施設として設置。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・無	ペナルティ制 有・無	
指定管理者	名 称	ひびき灘開発株式会社		
	所 在 地	若松区浜町一丁目18番1号		
指定管理業務の内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設見学等に関する企画・立案、見学者対応、連絡調整等 ・ 施設展示、施設利用者に対する支援、施設の利用促進に関する業務 ・ 市の環境産業施策に関するPR、情報提供等 ・ 施設の維持管理に関する業務（清掃、警備等） ・ その他、統計作成、苦情対応 		
指定期間		平成26年4月1日～平成31年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント				
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				
(1) 施設の設置目的の達成				
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。				
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。				
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
【所見】				
① 目標の達成				
<p>平成 27 年度のエコタウンへの視察者数は、北九州市教育委員会主催の「環境体験科」の計画的な受入れ、夏休み期間に合わせた体験型工場見学「親子探検ツアー」の実施、エコタウンまつりの開催などにより、目標であった 10 万人を突破して 100,893 人となり、更新前の指定管理期間も含め、6 年連続で 10 万人を突破している。</p> <p>※平成 27 年 10 月 16 日にエコタウン見学者 140 万人記念セレモニーを実施</p>				
【目標値に対する比較】市が指定管理者に求める最低限度の要求水準：年間 80,000 人以上				
	指定管理者が 定めた目標	実績	差引	増加率
平成 27 年度	100,000 人	100,893 人	893 人	0.9%
平成 26 年度	100,000 人	100,332 人	332 人	0.3%
平成 25 年度	100,000 人	100,643 人	643 人	0.6%
平成 24 年度	100,000 人	103,867 人	3,867 人	3.4%
平成 23 年度	100,000 人	100,576 人	576 人	0.6%
平成 22 年度	100,000 人	101,245 人	1,245 人	1.2%
平成 21 年度	82,500 人	95,548 人	13,048 人	15.8%
② 利用促進を図るための取組み				
◆北九州市教育委員会主催の「環境体験科」の受入れ				
<p>「3R」や「循環型社会」、「北九州市のごみの分別について」等の内容に加え、学校での環境の取組みや、社会科見学での清掃工場やかんびん資源化センターへの訪問状況等を細かく聴取した上で、見学内容を組立て、見学受入・対応を行っている。</p> <p>また、対象である 4 年生にも身近でわかりやすい、ペットボトルや家電製品のリサイクル工場を見学先として選択するなど、より一層リサイクルに興味を持ってもらえるように工夫している。</p>				

【環境体験科 受入れ状況】

	学校数	人数	対象
平成 27 年度	43 校	3,109 人	小学 4 年生
平成 26 年度	49 校	3,542 人	小学 4 年生
平成 25 年度	47 校	3,364 人	小学 4 年生

◆修学旅行の受入れ

修学旅行の受入れを通じて北九州市やエコタウンのPRを行っている。また、北九州市産業経済局観光課の事業である「環境修学旅行」については、企画段階から関わり、ツアー内容や受入れ方法などを提案している。また、受入れに際しては、打合せや下見を行い、各学校の要望に沿って見学内容を組立てるオーダーメイドの対応を行っており、見学者から高い評価を得ている。

【環境修学旅行 受入れ状況】

	修学旅行受入数	うち環境修学旅行受入数
平成 27 年度	28 校	3 校
平成 26 年度	29 校	10 校
平成 25 年度	35 校	7 校

◆次世代エネルギーパークの施設見学受入れ

これまでの次世代エネルギーパークの定型コースに加えて、ゼロ・エミッション交通システム等を見学する2コースを新規設定し、特にリピーターに好評を得た。

また、昨年に引き続き、北九州環境ミュージアムと連携し、次世代エネルギーパークやスマートコミュニティ創造事業等の紹介を行う「北九州エネルギーバスツアー」を実施するなど、見学の受入を積極的に行っている。

※新規2コース受入れ件数53件、参加者数673人。

◆夏休みオリジナル企画の実施

夏休みに合わせて、体験型工場見学「親子探検ツアー」を実施している。毎年人気の体験を組み込んだ見学ツアーの設定や、スタッフ手作りの見学コース毎「ワークブック」の配布など、創意工夫を凝らし、見学者の獲得に務めている。

【親子探検ツアー 実績】

	コース数	回数	参加者
平成 27 年度	9 コース	14 回	75 家族 182 人
平成 26 年度	9 コース	15 回	81 家族 221 人
平成 25 年度	9 コース	15 回	90 家族 241 人
平成 24 年度	7 コース	14 回	89 家族 242 人
平成 23 年度	8 コース	13 回	118 家族 331 人

◆日曜開館

エコタウンセンターの利用促進を図るため、子どもや一般市民を対象に夏休み期間中3回の日曜日を特別開館した。

※開館日（特別開館）については、事前に市政だよりや学校で配布される夏休みの情報冊子にて告知。

◆エコタウンまつりの開催

日曜特別開館のうちの1回に、初めて「エコタウンまつり」を開催し、リサイクルやエネルギーを楽しく学ぶワークショップや講座等を実施した。

※平成27年8月9日（日）10時～15時 来場者数278人。

◆エコ・エネワークショップの実施

廃材や身近なものを使用してリサイクルやエネルギーに触れる「エコ・エネワークショップ」を平成26年度から実施し、参加者から高い評価を得るとともに、新たな来館者やリピーターの獲得につながっている。

※毎月1回、計11回実施（申込なしのため中止1回）、参加者数142人。

※内容は、新聞紙を使った花のブローチづくり、ダンボールを使ったソーラークッカーづくり、空きびんを使ったスノードーム作りなど。

◆海外視察者の受け入れ

市内外からの視察者のみならず、都市環境インフラに係る技術や行政ノウハウなどの海外展開等への対応のため、海外の様々な国から視察者を多く受入れるなど、市の重要な施策に大きく貢献している。

【海外視察者数の推移】

年度	海外視察者数	海外視察者数		
		韓国	中国	その他
平成27年度	3,868	1,314	745	1,809
平成26年度	3,585	637	486	2,462
平成25年度	4,114	1,809	467	1,838
平成24年度	3,905	1,545	805	1,555

※その他 タイ、インドネシア、マレーシア、フランス、ケニア、ブラジル他

④ 営業活動・広報活動

◆リーフレットの配布

学校関係や市内関連施設・企業、リピーターとなる可能性が高い団体に向け、エコタウンPRリーフレットを継続配布している。その際、配布先の職種や地域等に応じて、リーフレットの内容を変更したり、より効果的な時期に送付したりするなど、きめ細かいPR活動を実施している。

◆訪問 PR

平成 27 年度から新たに、市内大学や商工会議所、近隣市町村の環境部局等へ出向いて PR 活動を行った結果、早速研修に利用してもらう等の成果があった。

※訪問件数 24 件（市内大学 12 件、近隣市町村の環境部局 8 件、その他 4 件）。

◆ブログ及び Facebook の開設

平成 26 年度にブログ及び Facebook を開設し、エコタウンセンターやエコタウン企業等の最新情報等の発信を効果的に行っている。

◆出張 PR

各種環境イベントに参加し、積極的な PR を実施。

【平成 27 年度 出張 PR イベント内容】

イベント名	開催場所	開催日
エコライフステージ 2015	市役所周辺	10/10（土）、10/11（日）
エコテクノ 2015	西日本総合展示場	10/7（水）～10/9（金）
ひびきエコフェスタ	響灘緑地グリーンパーク	10/4（日）

以上のように、利用促進を図るために、市の機関と連携して社会科見学や修学旅行の受入れを図るとともに、新しい見学コースの設定や夏休みオリジナル企画など自主イベントの実施、ブログ及び Facebook での最新情報発信などの創意工夫により目標を達成している。

（2）利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

【所 見】

① 利用者アンケート

エコタウンの見学ツアーに参加した 554 人に対してアンケートを実施し、
「（1）窓口での受付対応や言葉づかい」については、「大変良かった」、「良かった」との回答が 100%、
「（2）エコタウン事業説明の分かりやすさ」については、「大変良かった」、「良かった」との回答が 99%、
「（3）ご希望に沿った案内でしたか」については、「はい」、「ある程度」との回答が 100%、
「（4）再度ご来館いただけますか」については、「是非」、「機会があれば」との回答

が93%となっており、見学者のほとんどが満足を得ている。

② 利用者意見の把握・反映

予約見学者について、団体毎の要望事項や見学内容を記載した見学カルテを作成して情報管理し、複数回訪れる団体見学者に対して、毎回異なった内容が見学できるよう工夫を凝らしている。また、小中学校に対しては、平成27年度から新たに「環境学習メニュー（学びたいことリスト）」を事前送付して各校の要望や学習進度を把握し、要望に応じた見学案内を行っている。

③ 苦情対応

苦情が発生した場合は、最後まで耳を傾け丁寧な対応を行うとともに、すぐに解決できない場合は、管理責任者へ速やかに引継ぎクレーム対応を行う体制を整えているが、結果として、苦情発生件数は引き続き0件であった。

【苦情発生件数の推移】

	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
苦情件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件

④ 利用者への情報提供

ホームページや平成26年度から開設したブログ・Facebookにより、見学コースやエコタウン企業の情報を随時更新し、最新のデータを提供している。また、ひびき灘開発のウェブサイト上に見学予約状況を公開し、見学希望者のサービス向上に努めている。

⑤ サービスの質を維持・向上するための取組み

案内係である「エコ・コンシェルジュ」を常時配置することにより、スポット来館者（見学予約なしの来館者）に対しても、館内案内や要望に応じた対応が出来ており、来館者から好評を得ている。

以上のように、エコタウン見学者のほとんどが満足を得ており、利用者の意見の把握・反映のために、見学者カルテ等の作成・活用、エコ・コンシェルジュの設置など、見学者に対するサービスの維持・向上が具体的に図られている。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。

② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。

③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【所見】

① 経費の効率的な低減

繁忙期・閑散期を考慮した柔軟な勤務体系を組むことにより、人件費の削減に努めている。また、委託業務やリース契約を複数年の長期契約とすることで外注費の低減を図るとともに、平成 24 年度に設置した太陽光発電設備や LED 照明、電気自動車等を適切に活用することで省エネ対策を実施している。

② 経費が最小限となる工夫

委託先の選定に当たっては、ひびき灘開発(株)本社が契約事務を行い、同社で実績のある事業者数社から見積を徴収している。その上で、会社規模や業務内容、信頼性等を考慮し、見積金額も安価である事業者を選定して管理コストの削減に努めている。

③ 経費の効果的・効率的な執行

イベントに参加する際に使用する展示物等の制作や屋上庭園や ECO 花壇の維持管理をスタッフが担当し、また小まめに消灯を行うなどの節電対策を実行するなど、経費削減に取り組んでいる。

【指定管理料（決算）の比較】

年度	平成 27 年度	平成 26 年度
① 指定管理料	61,940	61,643
エコタウンセンター管理運営等	53,661	53,419
次世代エネルギーパーク視察対応等	3,691	3,658
消費税（8%）	4,588	4,566
② 指定管理料（軽微な補修費）	797	797
合計（①+②）	62,737	62,440

（2）収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

－（※利用料金制度を導入していないため、収入に関する取組みはなし）

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

（1）施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。

② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。

③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

【所 見】

① 合理的な人員の配置

ひびき灘開発株のプロパー社員を管理責任者として配置し、緊密な連携体制がとれるようにしている。また、見学者対応についても、見学者の人数、構成（年長者や障害者等）や見学地に応じ、安全面を考慮してスタッフを複数配置するなど、合理的な配置を行っている。

② 職員の資質・能力の向上

来館者へエコタウン事業等を分かりやすく説明するため、スタッフのスキルアップ研修を実施するとともに、毎年、北九州市環境首都検定を受検するなど知識の習熟に努めている。（平成 22、25、26 年度は団体部門において優秀賞を受賞。平成 21、23 年度は最優秀賞を受賞）。

【見学案内業務等に関する研修】

内 容	回 数
北九州エコタウン企業の業務内容に関する研修	9 回
北九州次世代エネルギーパークの企業の業務内容に関する研修	3 回
北九州市の環境行政等に関する勉強会（講師：環境局職員）・清掃工場等の視察	4 回
北九州市内の環境・エネルギー関連企業の視察や講演会への出席	5 回
北九州市外の環境・エネルギー関連企業の視察や講演会への出席	7 回
北九州環境ビジネス推進会（KICS）例会	7 回
新人研修等	12 回
指定管理者研修「暴力団排除について、クレーム対応」	1 回
合 計	48 回

③ 地域や関連団体等との連携・協働

エコタウンや次世代エネルギーパークの連絡会議に出席して、本市やエコタウン企業との情報交換を行い、協力体制を整えている。

また、エコタウン企業同士の交流や相互連携の促進を目的として平成 25 年 7 月に設立した「北九州エコタウン・ネットワークサロン」の事務局を務めるとともに、平成 26 年度からは、エコタウンセンター、響灘ビオトープ、環境ミュージアムの 3 施設で「北九州市環境啓発施設連絡会」を設置し、環境施策に係る情報交換等を行っている。

その他にも、市の「環境首都 100 万本植樹プロジェクト」への参画や、「生活環境クリーンサポート事業」に登録し、実証研究エリア周辺の清掃活動を実施するなど、本市やエコタウン企業、地域・関連団体等との連携も密であり、積極的に協働する関係が築かれている。

【平成 27 年度 北九州エコタウン・ネットワークサロン活動内容】

平成 27 年 5 月	第 7 回例会 講話、交流会	福岡大学資源循環環境制御システム研究所 アジア低炭素化センター 他
平成 27 年 7 月	第 8 回例会 視察会	西日本家電リサイクル(株) 日本磁力選鉱(株)
平成 27 年 11 月	第 9 回例会 視察会、交流会	新日鉄住金エンジニアリング(株) 楽しい(株)
平成 28 年 1 月	第 10 回 例会 講話	九州リファイン(株) (株)北九州空き缶リサイクルステーション 九州経済産業局
平成 28 年 2 月	北九州マラソン 2016	給水ボランティア活動

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

[所見]

① 個人情報の保護対策

市の個人情報保護条例等関係法令を遵守し、利用目的の限定等の事項に留意して個人情報を厳格に管理している。

見学申込書等の個人情報は、管理責任者が鍵付きロッカーにて保存・管理し、保存期間経過後はシュレッダー処理を行うとともに、パソコンに保存されている個人情報については、パスワードの設定、データバックアップ専用のHDを設置する等のシステムセキュリティを施している。

② 平等利用に関する配慮

館内はバリアフリーであるが、館内のレイアウト変更時には、車椅子利用者や団体客も通行できるように十分な通路を確保している。また、日頃から来館者の利用しやすい環境づくりに努めており、平成 27 年度には、駐車スペースのサイン補修を行ったほか、市に館内サイン等の設置を提案した。

なお、見学についても、年長者の多い団体の場合は、階段の昇り降りが少ない見学先を設定するなど見学コースをアレンジするとともに、必要に応じて複数のスタッフで対応している。

⑤ 安全対策

見学者に対して、見学スケジュールや見学時の注意事項等を事前に送付することで注意喚起を促している。

また、安全パトロール（年2回）や産業医による施設巡視（年1回）を実施し、危険箇所の早期発見に努めるとともに、日々の見学対応中に施設や見学地で危険箇所等を発見した際は、すみやかに安全対策を講じた上で、本市及び本社へ連絡・報告している。

⑥ 危機管理体制

開館時間内には、本館及び別館に常にスタッフを各1名以上常駐させ、不審者・不審物及び火災の発生要因や設備の破損箇所がないか等を定期的な巡回・監視により確認するとともに（夜間は機械警備にて対応）、スタッフ全員が参加しての火災避難誘導訓練を年1回実施し、避難経路、避難誘導の方法等を確認している。

【総合評価】

[所見]

北九州エコタウンセンターの指定管理業務は、単なる施設管理にとどまらず、「エコタウン事業・次世代エネルギーパークの紹介」、「エコタウン企業や実証研究施設などの見学引率・説明」及び「環境学習や市内環境関連産業の紹介」など、「北九州市の環境施策」のスポークスマンとしての業務も担っている。

このため、センタースタッフは、本市やエコタウン企業等との情報交換や研修等を行い、正確で新しい情報がタイムリーに出せるよう、日々、説明資料の更新や勉強を重ねている。また、見学者に応じた見学資料・館内展示の作成や、ブログ等の活用等、積極的な情報発信にも努めている。

このような活動を通じた、エコタウン企業との信頼・協力関係は他のエコタウンでは見られないものであり、センタースタッフの地道な努力が、見学者の満足度を高め、6年連続での視察者数10万人以上の達成に大きく寄与してきたことは明らかである。

また、環境局以外の市の機関との連携・協力も積極的に行うとともに、更なる集客や利用者の満足度を高めるために、新たな見学コースを設けたり、積極的な営業活動を行ったりするなど、工夫を凝らした取組みを実施している。あわせて、経費削減や管理体制の整備等についても積極的な対応が図られており、エコタウン事業の目的を踏まえた適切な事業運営が実施されている。

以上のように、エコタウンセンターでは、常にサービスの質の向上を目指した努力・工夫が重ねられており、かつ効果的・効率的な管理運営が行われている。

[今後の対応]

目標値である視察者数10万人を達成するとともに、アンケートでも高い評価を得ており、良好なサービスが提供されている。引き続き、サービスの質の向上を目指した努力・工夫を重ね、数値目標の達成及び効果的・効率的な管理運営を進めていただきたい。